

2019.11.22 <計2枚>

草津市政記者クラブ加盟社 各位

立命館大学広報課

第11回立命館地球環境委員会シンポジウム
「Society5.0時代における持続可能な社会」開催
日時：2019年12月3日（火）14：40～18：00
場所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス

立命館地球環境委員会は、シンポジウム「Society5.0時代における持続可能な社会」を12月3日（火）に開催いたします。

本委員会は、学園全体の省資源化を推進する学内機関として、2010年度に発足しました。学校法人の規模の拡大とともに増大する環境負荷の低減に向けて、省エネ等の取り組みを推進しています。

今回のシンポジウムは「Society5.0」に着目し、先進的な技術・研究事例から持続可能な社会について考えます。具体的には、本学園が2019年3月に「戦略的DXパートナーシップ協定」を締結した三菱地所株式会社が目指すデジタルトランスフォーメーションへの取り組みや、最新の施設運営管理モデルに関する事例紹介、近畿経済産業局が推進する「関西スマートエネルギーニシアティブ」に関する講演を行います。

また、立命館学園におけるプラスチックごみの減量やリサイクル率向上につながる施策、啓発等のアイデアを発表する「持続可能なキャンパス・アイデア・コンテスト2019」の表彰式やSociety5.0と社会の環境変化に関するパネルディスカッションも予定しています。

本シンポジウムを学園構成員への環境教育・啓発活動の機会とし、主体的な参画を促すとともに本学園の取り組みを広く発信します。

記

日時：2019年12月3日（火）14：40～18：00（開場 14：00）

場所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス 立命館大学ローム記念館 5階 大会議室

プログラム：別紙参照

参加費：無料、事前申込不要。どなたでもご参加いただけます。

共催：立命館地球環境委員会、立命館サステナビリティ学研究中心

以上

- 取材・内容についてのお問い合わせ先
学校法人立命館 財務部管財課
（立命館地球環境委員会事務局）担当：永田・松本
TEL. 075-813-8168
MAIL. ritseco@st.ritsumeai.ac.jp

既存の枠を超えて未来をつくり出すこと
それが立命館のアイデンティティー
Beyond Borders

別紙

【プログラム】 ※敬称略

◇前半の部

14:40～14:50 開会挨拶

仲谷 善雄(立命館地球環境委員会 委員長、学校法人立命館 総長)

14:50～15:10 講演①「関西スマートエネルギーイニシアティブにおける AI・IoT 技術を活用した
スマートキャンパス等の検討」

大平 昌幸(近畿経済産業局 新エネルギー推進室 室長)

15:10～16:00 講演②「三菱地所が目指すデジタルトランスフォーメーションとロボット活用」

渋谷 一太郎(三菱地所株式会社 DX 推進部 統括)

◇後半の部

16:10～17:00 講演③「深層学習を活用したインフラ点検に関して

野村 泰稔(立命館大学理工学部 環境都市工学科 教授)

17:00～17:10 サステナブルキャンパス・アイデア・コンテスト 2019(※)

最優秀賞受賞者による発表 表彰および講評

17:10～17:50 パネルディスカッション

コーディネーター:近本 智行(立命館サステナビリティ学研究センター長)

パネリスト:大平 昌幸、渋谷 一太郎、野村 泰稔、

重村 知輝(立命館大学大学院 理工学研究科 修士2回生)

廬 宏泰(立命館大学大学院 理工学研究科 修士1回生)

伊藤 祐聖(立命館守山高等学校 2年生)

17:50～18:00 閉会挨拶

近本 智行

(※)サステナブルキャンパス・アイデア・コンテスト 2019 は、キャンパス内外におけるプラスチックごみの減量やリサイクル率向上につながる施策、啓発等のアイデアを募集する取り組みです。最優秀賞に輝いた施策は、2020 年度に具体化を検討します。

【過去の最優秀賞】

・2016 年度 テーマ:ゴミの削減

「ペットボトルの削減を促すマイボトル+R」

・2017 年度 テーマ:持続可能な環境と健康

「廃棄野菜・果物のスムージー提供とマイボトルのさらなる促進」

「APU Community Educational Garden」

・2018 年度 テーマ:省エネ行動を促す広報物とその活用方法

「“Take the Stair” Campaign for Energy Saving」